

令和 7 年 1 月 24 日 (水)
13:15 ~ 13:50

第 122 回 東京都技術会議

東京都技術会議組織名簿

(座長)

東京都技監（都市整備局長・都市整備局技監 兼務）

(副座長)

住宅政策本部長

建設局長

下水道局長

(委員)

政策企画局技監（スポーツ推進本部技監 兼務）

デジタルサービス局次長

都市整備局技監

都市整備局理事（航空政策・交通基盤整備・交通政策担当）

保健医療局技監（福祉局技監 兼務・教育庁技監併任）

建設局道路監（デジタルサービス局理事（データハイウェイ推進担当） 兼務）

港湾局技監

水道局技監

※ 財務局 建築保全部長

※ 環境局 環境改善技術担当部長

※ 中央卸売市場 環境改善担当部長

※ 東京消防庁企画調整部長

※ 交通局 車両電気部長

※ 交通局 建設工務部長

※（産業労働局所管） 地方独立行政法人 東京都立産業技術研究センター

研究開発本部機能化学材料技術部長

※：オブザーバー

谷崎 馨一 (土木)

山崎 弘人 (建築)

花井 徹夫 (土木)

藤橋 知一 (土木)

朝山 勉 (土木)

佐久間 巧成 (土木)

栗谷川 哲雄 (建築)

三宮 隆 (土木)

成田 友代 (医師)

久野 健一郎 (土木)

村田 拓也 (土木)

鈴木 理 (土木)

金子 陽子 (建築)

丹野 紀子 (環境検査)

中井 宏 (土木)

上原 源隆 (消防)

生越 啓史 (電気)

坂口 淳一 (土木)

清水 研一 (理工技術)

会議次第

1 開会

2 議題

令和7年度「東京都技術会議」の活動について（中間報告）

3 その他

4 閉会

令和7年度 技術会議の取組

- 第121回会議にて、技術会議が果たすべき役割を **3つのミッションとして整理**
- ミッションに関する取組の成果は、今年度最後の技術会議にて報告予定
- 今回会議では、最終報告に向けた**中間報告**を行う

全体事務局（政策企画局・都市整備局）

凡例： ● 生産性 ● 国際 ● 技術力

Mission1（各局の施策を下支えする取組）

技術職員確保の取組強化



海外交流実績の整理・分析・共有



技術分野における都の先進的な取組の発信



Mission2（技術力の維持向上を図る取組）

技術力の蓄積に向けた取組の推進

3つの部会で各取組を推進



区市町村等への技術的支援の展開



Mission3（新技術を活用・実装する取組）

DX・AI等の活用促進



グローバル専門人材の交流促進



技術職員のデジタルリテラシー向上



<主な取組>

国際発信力強化部会 (水道局・住宅政策本部)

Mission 1

海外交流実績の整理・分析・共有
⇒海外交流データベースの充実強化

技術力維持向上部会 (交通局・下水道局)

Mission 1

技術職員確保の取組強化
⇒組織的な大学訪問

Mission 2

技術力の蓄積
⇒キャリアモデルの充実

生産性向上部会 (建設局・港湾局)

Mission 3

デジタルリテラシー向上
⇒デジタル技術体験会

国際発信力強化部会

まちづくりやインフラ分野における国際発信力の強化

令和7年度国際発信力強化部会の取組状況

取組内容

第121回技術会議資料より抜粋

○海外交流実績の整理・分析・共有

- ・海外交流実績データベースのデータ追加、利用しやすい方式へのバージョンアップ
- ・効果的なPR戦略の検討
- ・海外交流事例集の作成、整理
- ・国際発信ツール（PRペーパー等）の更新

○国際会議等における先進的な取組の発信

- ・国際会議等でのプレゼン、ブース出展
- ・SNSによる技術力・取組の発信
- ・海外技術者との現場視察、意見交換
- ・海外主要都市への渡航調査等
- ・開発途上国への技術支援、協力
- ・国や学会、業界団体等が主催・参加する国際会議の開催状況調査

○グローバル専門人材の交流促進

- ・グローバル専門人材のコミュニティや人材活用に向けた交流サイトの構築
- ・海外留学先候補のリスト化



主な実施状況

データの追加 : + 248 件
 バージョンアップ : 利用者へのアンケート結果に基づく改良



渡航・受入の実績都市数
 令和7年度 : 136 都市(予定含む)
 (参考)令和6年度 : 144 都市

重複を含む延べ数で記載



研修生への支援を実施
 海外留学先候補のリスト作成

●海外交流実績の整理・分析・共有（1／2）

<海外交流実績データベース：対象期間拡大、バージョンアップ>

概要

- 昨年度作成したデータベースについて、対象年度を拡大しデータを追加とともに、利用しやすい方式にバージョンアップ
- データベースを活用し効果的なPR戦略を検討
- 海外交流の手掛りとして活用可能な海外交流事例集を作成

実施内容

○海外交流実績データベース

・データの追加

→登録対象年度を『R4～R6』から『R1～R7』へ拡大中

<データベースの登録データ>

種別	R1～R7計
海外渡航	289件 (+116)
海外受入	258件 (+129)
覚書・協定	9件 (+3)
合計	556件 (+248)

※括弧内はR6年度作成時点からの増

・バージョンアップ

→既存データベースの機能や使い勝手に関するアンケートを実施(令和7年8月)

<アンケート項目>

- ・検索画面に関する評価とその理由
- ・検索結果画面に関する評価とその理由
- ・各画面の改善要望

<アンケートで挙げられた意見を踏まえた改良の方針>

- ◆検索自由度の向上（複数項目の組み合わせ検索）
- ◆操作性の向上（一目で直感的に分かる操作性）
- ◆検索結果の視認性の向上（不要な情報は非表示）

→アンケートで得た方針を踏まえ改良中

○海外交流事例集

- ・海外交流実績データベースに多く登録されている都市について、各都市の課題や東京都との交流実績など掲載内容を整理中

年度末に向けて

- ・引き続き、来年度早期の公開を目指しデータベースのバージョンアップを実施
- ・海外交流実績を基にPR戦略の検討及び海外交流事例集の作成を実施

●海外交流実績の整理・分析・共有（2／2）

<国際発信ツールの更新と活用>

概要

- 国際発信ツール（PRペーパー等）を更新し、国際イベントにおいて活用することで効果的な情報発信を実施

実施内容

- Smart City Expo World Congress 2025 (SCEWC)
(デジタルサービス局、ほか)

<日程>

令和7年11月4日～6日

<場所>

スペイン（バルセロナ）

<概要>

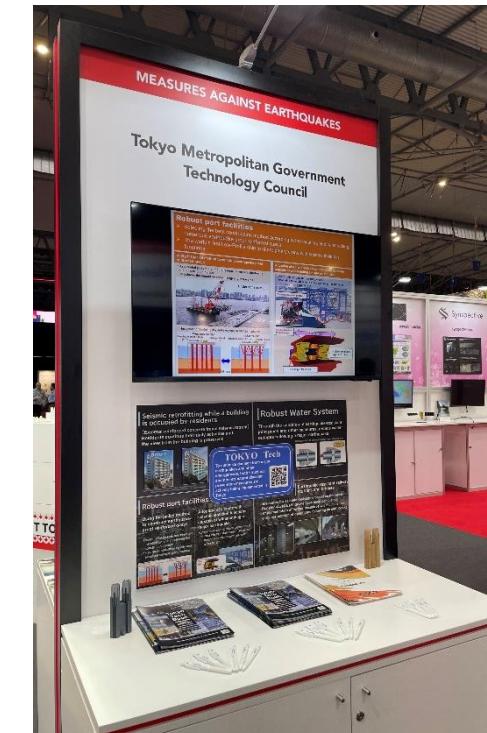
- ・社会課題解決に資するソリューションを提案する企業・団体が世界約850都市から参加する、世界最大級のスマートシティをテーマとしたイベント

<取組>

- ・PRペーパーの活用
→地震対策に関するパネル展示、東京都における強靭化に資する施策のスライドショー放映を実施
- ・Tokyo Tech Bookの活用
→技術会議のブースで配布し東京都が保有する技術・ノウハウをPR



[TOKYOパビリオン]

[PRペーパー、Tokyo Tech Book
活用状況]

[技術会議のブース]

年度末に向けて

- ・引き続き、国際発信に向けてPRペーパーを適宜更新
- ・国際イベント等においてPRペーパーやTokyo Tech Bookを活用し、効果的に技術を発信

●国際会議等における先進的な取組の発信（1／3）<海外技術者との交流><国際会議等でのプレゼン、ブース出展>

概要

- 海外技術者との意見交換やインフラツアーオンにおける技術の発信を通じ、世界共通の課題解決に向けた都市間連携を推進
- 各都市の技術者が集まる国際会議等でインフラ技術に関するブース出展等を行い、国際発信力を強化

実施内容

○G-NETSワーキンググループ共同プロジェクト(技術的交流)に係る視察(港湾局、建設局ほか)

<視察先(参加都市数)・テーマ>

- ・ゆりかもめほか (11都市)・交通分野の省エネ・再エネ
- ・辰巳排水機場ほか (8都市)・臨海部の防災対策
- ・明治公園ほか (10都市)・都市緑化

<意見交換会における主な意見>

- ・クリーンエネルギーへの転換が着実に進んでいたことが印象的だった
- ・防災対策について、自身の都市でも導入したい



[ゆりかもめを視察]



[排水機場内の施設等を視察]

○第98回米国水環境連盟年次総会（WEFTEC2025）(下水道局)

<日程>

令和7年9月29日～10月1日

<場所>

アメリカ（シカゴ）

<取組>

- ・SPR工法や水面制御装置等を紹介するブース出展による技術の発信や、大深度の下水道管をテーマとした意見交換等を通じ、海外技術者と交流

<ブース訪問者の主な反応>

- ・道路を掘削せず管路を内側から補強できるSPR工法を高く評価
- ・電力等のエネルギーを必要としない水面制御装置は画期的



[水面制御装置を説明]



[海外技術者との意見交換]

年度末に向けて

- ・今後も世界各都市の技術者との交流を通じ、都が保有する技術やノウハウを発信することで都市間連携を推進
- ・引き続き、国際会議などで都の取組を発信し、各都市の課題解決を推進

●国際会議等における先進的な取組の発信（2／3）<海外主要都市への渡航調査><開発途上国への技術支援・協力>

概要

- 国際ネットワークを活用し、海外主要都市への渡航調査を行い、先進事例や新技術等の知見を集積し、施策への反映を検討
- 開発途上国との現地調査や意見交換を行い、インフラ分野における技術協力を実施

実施内容

○ニューヨーク市におけるアフォーダブル住宅の供給及び保全
(住宅政策本部)

<日程>
令和7年10月6日～12日

<場所>
アメリカ (ニューヨーク)

<取組>

- ・急激な家賃高騰と住宅不足に対応するためニューヨーク市が取り組むアフォーダブル住宅について「供給」及び「保全」の観点から調査
- ・ニューヨーク市の事例を視察するとともに、意見交換を実施し、都の施策への反映可能性を整理



[公営住宅を視察]



[住宅局と意見交換]

○ルワンダ共和国水道事業体(WASAC)への技術支援・交流
促進に向けた現地調査（水道局）

<日程>
令和7年8月24日～8月29日

<場所>
ルワンダ (キガリ)

<取組>

- ・令和5年から交流を開始し、令和7年2月に水道局、東京水道（株）、ルワンダ共和国水道事業体の三者間で合意書締結
- ・8月に現地を訪問し、意見交換・セミナー等で交流を図るとともに、水道施設等を視察し、ルワンダの水道事業に関する実態を調査
- ・調査結果を踏まえ、水道事業のDXをテーマに計4回のオンラインミーティングを行い、技術協力を実施



[東京の水道技術に関するセミナー]



[ルワンダの水道施設を視察]

年度末に向けて

- ・先進事例調査を推進し、新技術等の知見を集積することにより、都が直面する課題への対応に活用
- ・開発途上国との現地調査や意見交換結果を今後の技術協力へ活用

●国際会議等における先進的な取組の発信（3／3）<SNSによる技術の発信>

概要

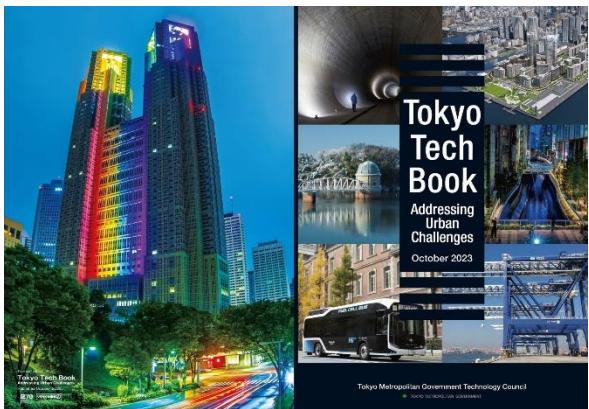
- 東京都が保有する技術・ノウハウについて、海外向けSNSを活用し効果的な情報発信を実施
- 国や学会、業界団体等が主催・参加する国際会議の開催状況を調査し、都の技術を発信できる機会を把握

実施内容

○海外向けSNSによる技術・ノウハウの発信

- ・Tokyo Tech Bookの施策や各局が保有する技術等について、海外向けのXやInstagram等を活用し情報発信

<Tokyo Tech Bookの紹介>



[10月24日：X, Facebook]

<外濠プロジェクトマッピング>



[10月30日：Instagram, X, Facebook(都市整備局)]

12月1日時点186いいね
閲覧者コメント『amazing!』

<水道管の耐震化>



[11月27日：X, Facebook(水道局)]

12月1日時点
約5.2万回閲覧

年度末に向けて

- ・引き続き、SNSを活用した都の技術等に関する情報発信を実施するとともに、さらなる技術の発信に向け、国際会議の開催状況を調査

●グローバル専門人材の交流促進

概要

- 第120回技術会議において、「都グローバル専門人材活用ビジョン」を決定
- 本ビジョンに基づき、「海外研修『大学院派遣プログラム（留学プログラム／都グローバル専門人材）』」の研修生を募集
- グローバル専門人材の活用に向け、各局のグローバルな活動に最適な人材を登用できる仕組みや、人材同士のコミュニティ形成を支援

実施内容

○グローバル専門人材の研修生への支援等

- ・5月にR8年度派遣研修生を募集し研修生候補者を選定
- ・現在、R9年度派遣研修生を募集中
- ・各局を通じて、研修に関心のある職員への働きかけ
- ・総務局と連携し、研修候補者への面談等によりサポートを実施

○人材のコミュニティや人材活用に向けた交流サイトの構築

- ・デジタルサービス局を通じて、交流サイトの構築方法を相談しながら、複数のプラットフォームを比較検討、構築に向けた課題等を整理

○海外留学先候補のリスト作成

- ・委託事業者を活用し、留学先候補となる海外大学院のリストを作成中
- ・欧州にある国内大学の拠点へのヒアリングにより、東京の強靭化に関連する研究を行っている大学情報や留学事情等を調査

年度末に向けて

- ・Microsoft Teamsを活用した研修生同士の交流プラットフォームを構築
- ・引き続き、総務局と連携し研修生へのサポートを実施

技術力維持向上部会

I 技術職員確保の取組強化

①大学／工業高校への訪問

②任期制退職予定自衛官向け説明会

③学生・合格者向けの取組

- ・技術・福祉系現場見学会
- ・局別／職種別事業説明会（オンライン）
- ・本庁現場見学会

④情報発信（東京TECHブログ）

大学／工業高校への訪問

- ・学生らに**都庁の魅力や新たな試験制度をPRする。**
- ・大学主催の就職説明会への参加、キャリアセンターや就職担当教授等を通じた小規模説明会の開催など、**学生と対話の機会を創出する。**
- ・大学訪問先をリスト化し、訪問先の事前把握、進行管理を徹底する。

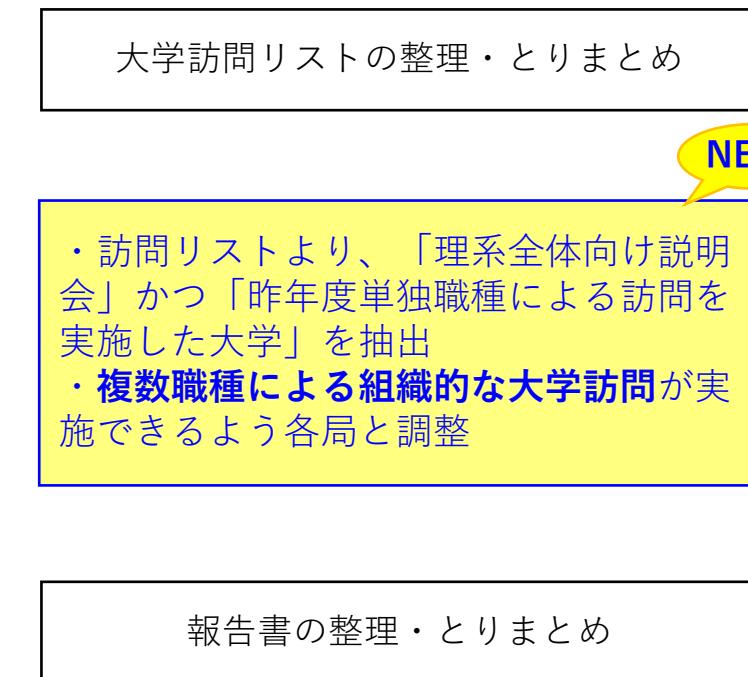
今年度からの新たな取組 NEW!

- ・技術職の採用倍率が減少傾向であるなか、採用PRのターゲットを拡大するため、「理系全体向け説明会」かつ「昨年度単独職種による訪問を実施した大学」を抽出し、**各局と連携しながら複数職種による組織的な大学訪問**の候補先を検討する。
- ・採用PR資料に奨学金支援制度や海外大学院派遣制度の話を盛り込むなど、リニューアルを実施

大学訪問実施局



技術力維持向上部会



各局との連携強化！

大学／工業高校への訪問

R7実績（11月末時点）

大学訪問（実施済） 30回
(日時決定) 8回

【参考：R6実績（11月末時点）】
大学訪問（実施済） 21回
(日時決定) 7回



大学訪問

複数職種による組織的な大学訪問先

大学名	主対応局 (参加局)	訪問先の形態	対象職種	開催時期	開催方法
東京科学大学	下水道局 (下水)	O B 訪問	機械・環境検査	7月23日	オンライン
筑波大学	下水道局 (下水)	O B 訪問	土木・機械・電気	10月29日	訪問
東洋大学	下水道局 (下水、住政、水道、交通)	理系学生向け説明会	土木・建築・機械・電気	11月5日	オンライン
日本大学	交通局 (交通)	技術系学生向け説明会	土木・建築・機械・電気	11月10、17日	訪問
日本大学	都市整備局 (都整、下水)	生産工学部全体セミナー	土木・建築・機械・電気	11月12日	訪問
法政大学	港湾局 (港湾)	技術系学生向け説明会	土木・建築	11月25日	訪問
工学院大学	都市整備局 (未定)	技術系学生向け説明会	土木・建築・機械・電気	2月(予定)	訪問
日本大学	水道局 (水道、建設、都整、交通)	理工学部業界・企業研究 セミナー	理系職種全般	2月(予定)	訪問
芝浦工業大学	下水道局 (下水、建設、都整、水道、交通)	技術系学生向け説明会	土木・建築・機械・電気	2月(予定)	訪問

技術職員確保の取組強化 主な取組内容

任期制退職予定自衛官向け説明会

NEW!

- 任期を定めて任用され、再就職を予定している「任期制退職予定自衛官」向けの合同企業説明会に今年度から新たに参加し、経験者採用も含めた人材確保の促進を図る。

R7実績

○開催日：令和7年8月27日（水）10:10～15:40

○参加者：18名

○場 所：東京流通センター

参加者からの質問

- ☑ 経験者採用について詳しく教えてください。
- ☑ 自衛隊と都で似ている仕事内容はありますか？
- ☑ 入都する前と後でギャップはありますか？

約250社が参加する
大規模な説明会！



説明会実施状況

技術・福祉系現場見学会（学生及び合格者向け）

各局の技術・福祉系の現場を見もらい、技術職の仕事を知ることで、
合格者の入都・学生の採用試験受験を促す。

R7実績

○開催局：環境局、保健医療局、生活文化局、建設局、
住宅政策本部、交通局、福祉局、下水道局、
都市整備局、港湾局、財務局、水道局

○開催日：令和7年8月～9月

○参加者：学生98名、合格者111名

○場 所：17現場



環状第5の1号線地下道路荒川線併行部建設工事【交通局】



東京国際クルーズターミナル【港湾局】



都営住宅（北区王子本町三丁目）工事【住宅政策本部】



市場衛生検査所【保健医療局】

現場見学会実施状況

4月

5月

6月

7月

8月

9月

▲1B新(合格)

▲1A1B般(合格)

▲辞退期限

技術職員確保の取組強化 主な取組内容

○入都試験合格者へのフォロー

局別／職種別事業説明会（合格者向け）

- ・都庁技術職の魅力を伝え、就職先のプライオリティーを高める。
- ・各局の事業や若手技術職の仕事を紹介し、都庁職員となる自分をイメージしてもらう。

R7実績

○内 容：職種別、局別に事業概要説明（オンライン）

○参加局：下水道局、交通局、水道局、建設局、港湾局、都市整備局、
住宅政策本部、財務局

○開催日：令和7年7月28日（月）13:20～16:40

○申込者：76名



オンラインによる
事業概要説明

4月

5月

6月

7月

8月

9月

▲1B新(合格)

▲1A1B般(合格)

▲辞退期限

本庁職場見学会（合格者向け）

- ・外側からは分かりにくいとされる公務員の仕事を内側から見てもらい、入都に対する不安を払拭する。

R7実績

○参加局：港湾局、建設局、都市整備局、水道局、下水道局、交通局

○開催日：令和7年8月20日（水）9:30～11:00

○参加者：36名



本庁職場見学会実施状況

II 技術力の蓄積に向けた取組の推進

①現場講習会の充実（職員向け・各局インフラ施設等の視察）

②ICT・DXを含む先端技術の研修

③TOKYO空き家活用魅力発信プロジェクトの支援

※今後「技術職員確保の取組強化」にも関係する可能性があるもの

④キャリアモデルの活用

⑤女性技術職員の活躍に向けたWAの取組との連携

現場講習会（職員向け）

各局のインフラ施設の現場視察を通じ、広範にわたる都庁技術者の役割と求められる技術力を学ぶ。

- (目的) 強靭で持続可能な都市の実現に向けた取組などについて現場で体感
- (参加者) 技術職員 主事、主任級を主とする。
- (内容) 施設見学、事業説明等
- (各局役割) 見学会の開催。局内（募集等）調整。

R7実績

※現場条件の制約のため参加人数を絞って開催

開催局	現場名	開催日	申込者数／定員	倍率
下水道局	新河岸水再生センター	10月17日	29名／19名	1.5倍
都市整備局	新宿駅直近地区土地区画整理事業	10月29日	77名／14名	5.5倍
水道局	東村山浄水場	11月5日	47名／19名	2.5倍
交通局	志村車両基地	11月20日	34名／15名	2.3倍



新河岸水再生センター



新宿駅直近地区
土地区画整理事業



東村山浄水場



志村車両基地

実施後アンケートより

- 写真だけでは把握しきれない現場の状況を実際に訪れることがより理解が深まりました。
- 局間異動の可能性があるので、今後も実施してほしい。
- 他局の職場を見学することができ、主任昇格後のキャリアの参考になった。

ICT・DXを含む先端技術の研修

建設業における先端デジタル技術や、民間事業者の持つ専門性や取組方法を学び、知見を深める

R7予定

- ・民間技術研修の実施に向けて調整中

TOKYO空き家活用魅力発信プロジェクトの支援

<住宅政策本部の取組への協力>

空き家の地域資源としてのポテンシャルを引き出すため、

- ✓ 都内大学が持つ知見や都職員の技術力を活用して
空き家のリノベーションのデザイン案を作成し、発表
 - ✓ 西多摩・島しょ地域の自治体と連携して移住・定住用住宅に改修
 - ✓ 一連の過程（ビフォーアフター）を動画で公開し、
空き家活用の魅力を発信
- 奥多摩町及び新島村が所有する
空き家（3物件）のデザイン案を選定済

R7予定

- ・工事中の現場見学会や完成時の報告会において、
開催当日の対応等を支援



「おくたま」でつながる家

～奥多摩古里の古民家再生の提案～

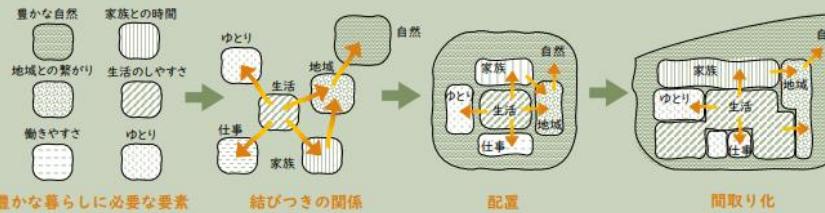
子育て世帯の住宅事情

共働き家庭の増加により家族が共に過ごす時間が減っているほか、地域とのつながりの希薄化により、子育てに不安を抱える家庭が増加している。また、コロナ禍以降、働き方や住環境に対する価値観が変化している。一方、都心部では地価高騰が進み、ゆとりのある住空間の確保が困難になっている。

奥多摩の魅力

豊かな自然が織りなす四季折々の風景や清らかな水辺は静かで力強く、心と体を整えてくれる。また、住民同士の距離が近く、支え合いのある地域社会が安心感をもたらす。子育て世帯には、自然の中でのびのび育つ環境があり、地域とともに生きる暮らしが子供たちに「生きる力」を育む。

奥多摩でみつける“本当の豊かさ”



既存を活かした計画



持続可能な住宅設備・性能



「地域」でつながる

- 玄関アプローチと家族が集うダイニング空間とが面しており、みちゆく地域住民との交流が自然と生まれる。



「自然」でつながる

- 多摩地域の豊富な木材を住室内のアクセントとして使用することで、周辺環境と馴染んだ空間となる。
- 玄関や室内にアウトドア用品等を豊富に収納でき、奥多摩の自然を満喫した暮らしが叶う。



「空間」でつながる

- 1階の外構面には連続した広い窓を設け、日差しが差し込む暖かい空間となる。
- また、室内と室外を連続的に仕上げることで、空間が広く感じられ、窓が安らぎの空間となる。



「家族」でつながる

- リビングが住宅の中心にあり、家族が自然と顔を合わせる。
- また、キッチンからリビングを見渡せるため、子供を見守りやすい。
- 『子育てに配慮した住宅のガイドライン(東京都住宅政策本部)』の指針を可能な限り順守した設計。



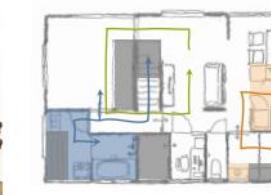
「仕事」でつながる

- ワークスペースとして個室が確保されている一方、リビングと隣接しており、家族の存在をガラス越しに感じることもでき、安心して仕事をすることができます。

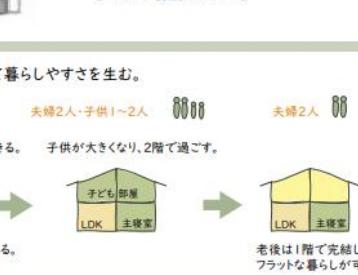


「便利」でつながる

- ランドリールームを設けることで、花粉の季節や天候を問わず洗濯事が可能になる。
- ランドリールームを中心にして、洗面所・お風呂・収納空間を集約している。

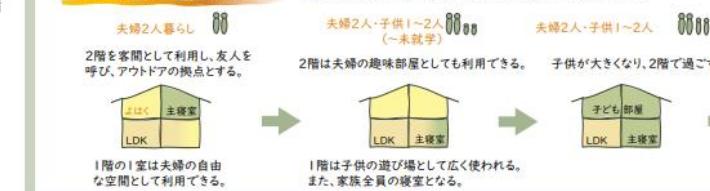


- 玄間に手洗い場を設け、帰宅後すぐに清潔な状態で室内に入ることができる。
- キッチンが玄間に近く、買い物の荷物をすぐに収納できる。
- 建物内の収納スペースは十分量を確保。(12%>最低8%以上)



「未来」でつながる

- よはくの空間が将来に渡って暮らしやすさを生む。



キャリアモデルの活用

異動のモデルパターンを整理し、将来のキャリアプランにかかるイメージを持ちやすくする

- ✓ キャリアを“見える化”し、本人だけではイメージできなかった将来の自分を前向きに描けるように
(+学生のキャリアへの関心は高く、職員確保にも有効なツールに?)

→ 都庁で働くモチベーションの維持向上につなげる

R7実績

- ・機械・電気職の概要版及び詳細版のプロトモデルを作成
- 四大技術の概要版・詳細版のイメージが出揃う

R7予定

① キャリアサンプルの収集

【5～30程度／職種】

各技術・専門職、主に課長代理～管理職への依頼を想定

◎必須回答（赤枠内に係る項目）： ✓年次・職級

- ✓ 所属局
 - ✓ 勤務地（本庁・事業所・派遣など）
 - ✓ 業務内容（計画・設計・施工・管理運営）
- ※各年次での職務概要（緑枠内）は任意回答

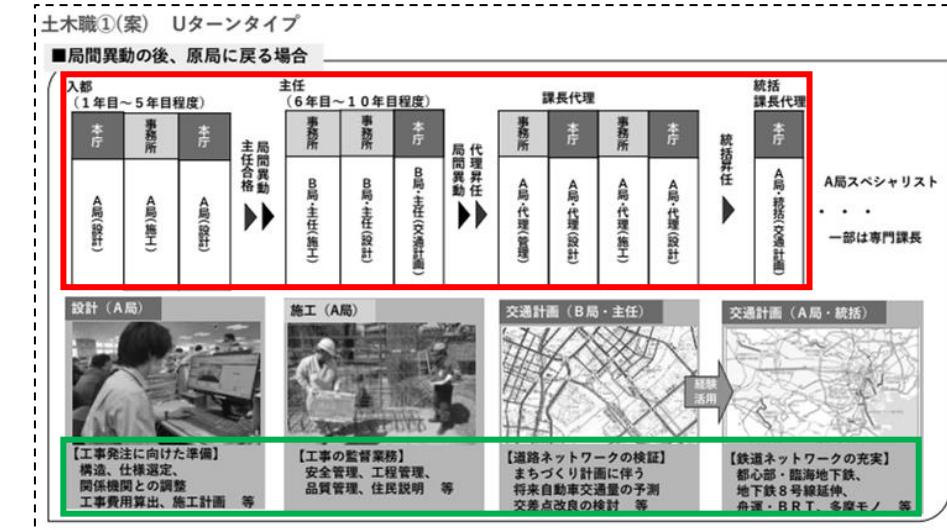
② 詳細版レベルに落とし込み

【2～10程度／職種】

- 例)
- ・局を匿名化 & 都市づくり／環境／… 分野を併記
 - ・勤務場所や業務区分の動きをグルーピング
 - ・業務内容を一般化

③ 概要版の整理

【1枚／職種】



活用に向けて、各職種の
概要版・詳細版を準備

女性技術職員の活躍に向けたWAの取組との連携

- WA (Women in Action) の取組と連携し、女性技術職員の確保及び活躍を推進
- 生活文化局の取組（「女子中高生向けオフィスツアー」）への協力
- ✓ STEM※分野での女性活躍を推進
※Science (科学)、
Technology (技術)、
Engineering (工学)、
Mathematics (数学) の4分野の総称



R7実績

- 夏に実施された
「女子中高生向けオフィスツアー」
を視察

オフィスツアーの事例
(GovTech東京)



団体の概要紹介



女性エンジニアによるパネルディスカッション

R7予定

- 「WA×技術会議」のコラボイベント開催を検討中
- 来年度を見据え、“オフィスツアー”的キックオフイベントの実施に向けて準備

生産性向上部会

実施目的

- DX・AI を利活用している各局取組について、技術職員に知り・触れ・体験してもらう
- 行政サービスの質を高めるとともに職員の「手取り時間」を創出するため、DX・AI の徹底的な利活用による、業務の一層の効率化・生産性の向上を目指す

実施概要

(1) 開催日時

- ・令和7年10月8日（水）13：00～16：00

(2) 対象者

- ・東京都職員及び区市町村職員

(3) 会場

- ・都庁第一本庁舎5階大会議場（DX・AI エリア）・レセプションホール（ドローンエリア）

(4) 出展局等

- ・都市整備局、建設局、港湾局、水道局、下水道局、交通局、デジタルサービス局、住宅政策本部等

令和7年度 生産性向上部会【デジタル技術体験会】

○来場者数**565名** (都職員522名、区市町村職員43名 (12区7市))

区分	No.	ブース名	所管局
VR	①	閘門の仕組みを学ぶXRコンテンツ	建設局
	②	VRを活用した体験型研修	水道局
	③	高精細VRを活用した新宿グランドターミナルの再編検討	都市整備局
	④	防災都市づくりVR (仮称)	都市整備局
AI	⑤	AIによる浄水場での薬品注入支援	水道局
	⑥	AI設計書チェック支援システム	下水道局
	⑦	AI巡回点検ロボット	下水道局
	⑧	設計図書AI照査	港湾局
	⑨	都市整備局版ベース・レジストリにおけるAI活用(仮称)	都市整備局
DX	⑩	住民説明会における完成イメージ動画の活用	建設局
	⑪	3Dデータを活用した道路の維持管理の高度化	建設局
	⑫	東京みなとDXシステム・離島港湾情報プラットフォーム	港湾局
	⑬	水道スマートメータ	水道局
	⑭	デジタルツイン	デジタルサービス局
スマートデバイス	⑮	タブレットによる地下鉄構造物維持管理	交通局
	⑯	デジタル端末による駅消火設備維持管理	交通局
	⑰	スマートデバイスを活用した点検支援	水道局
	⑱	スマートフォンアプリを用いた都営住宅の応急危険度判定	住宅政策本部
その他	⑲	ドローン展示	各局



令和7年度 生産性向上部会【デジタル技術体験会】

○来場者数565名 (都職員522名、区市町村職員43名 (12区7市))



①建設局



④都市整備局



⑦下水道局



⑩建設局



⑬水道局



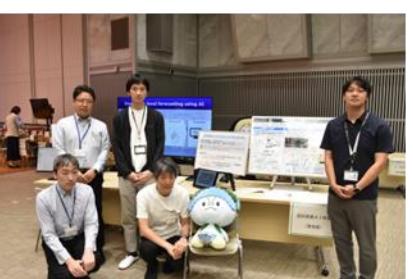
⑯交通局



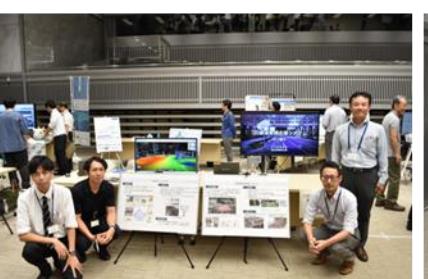
②水道局



⑤水道局



⑧港湾局



⑪建設局



⑭デジタルサービス局



⑰水道局



③都市整備局



⑥下水道局



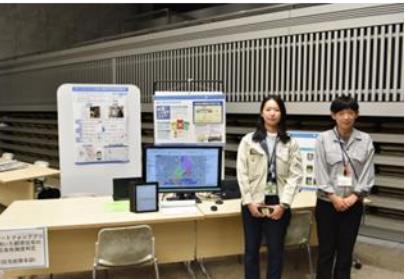
⑨都市整備局



⑫港湾局



⑮交通局

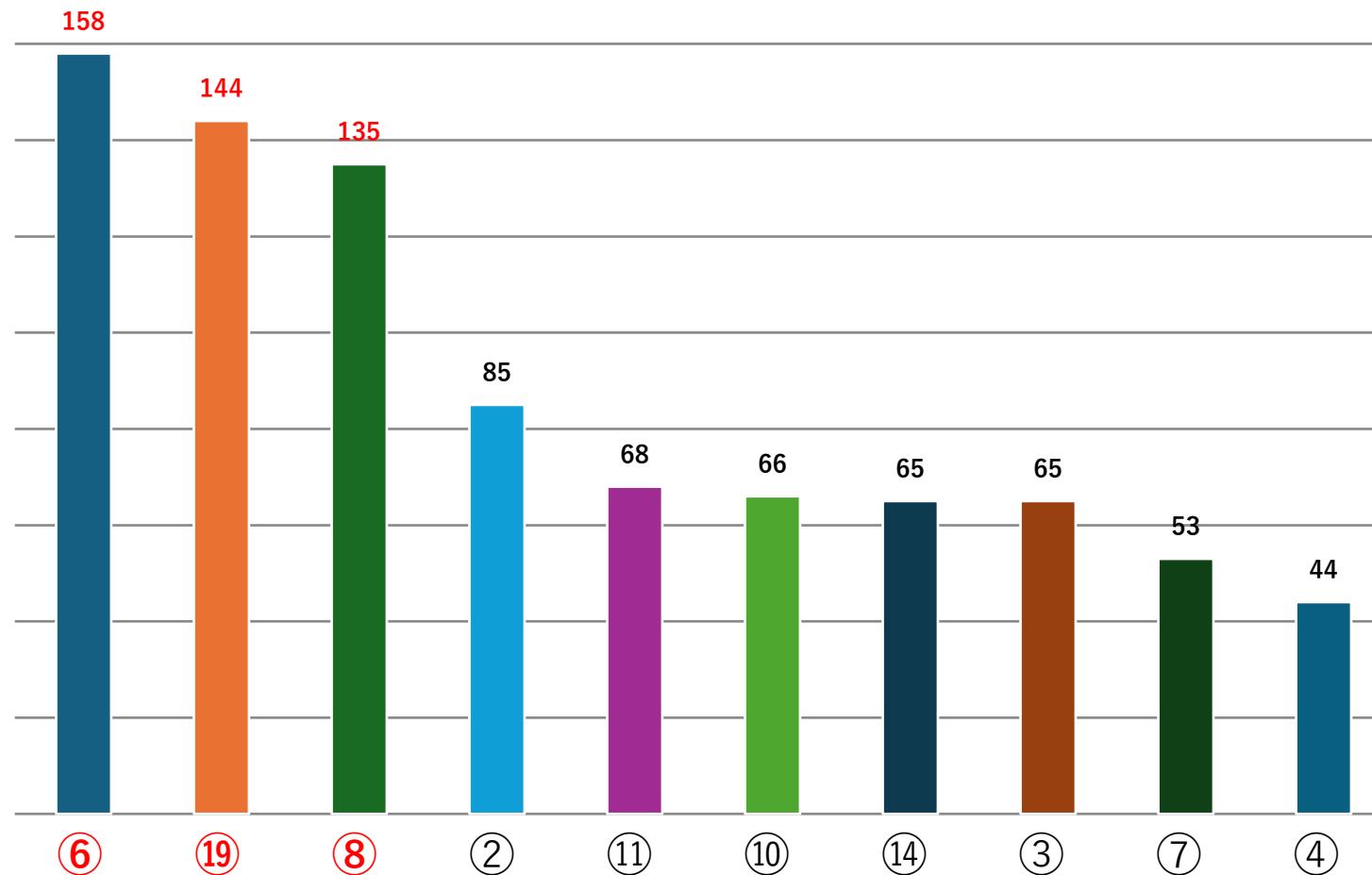


⑯住宅政策本部

アンケート結果

○アンケート回答者337名

Q、体験会で特に印象に残ったブース（上位10ブース）



- ⑥AI設計書チェック支援システム（下水道局）
- ⑯ドローンエリアでの展示（各局）
- ⑧設計図書AI照査（港湾局）
- ②VRを活用した体験型研修（水道局）
- ⑪3Dデータを活用した道路の維持管理の高度化（建設局）
- ⑩住民説明会における完成イメージ動画の活用（建設局）
- ⑭デジタルツイン（デジタルサービス局）
- ③高精細VRを活用した新宿ゲートターミナル再編検討（都市整備局）
- ⑦AI巡回点検ロボット（下水道局）
- ④防災都市づくりVR（仮称）（都市整備局）

※○番号はP3 表中No.参照

アンケート結果

○アンケート回答者337名

Q、体験会の各ブースで印象に残った点や興味を持った理由

【⑥,⑧ AI設計書関連】

- ・AIチェック、照査が出来れば大幅に業務の軽減になると思った。
- ・局ごとにAI設計図書照査の開発を進めており、都が支援するスタートアップ企業が開発していると知り驚いた。
- ・普段の業務が楽になり、他の仕事に時間を使うことが出来るようになりそう。

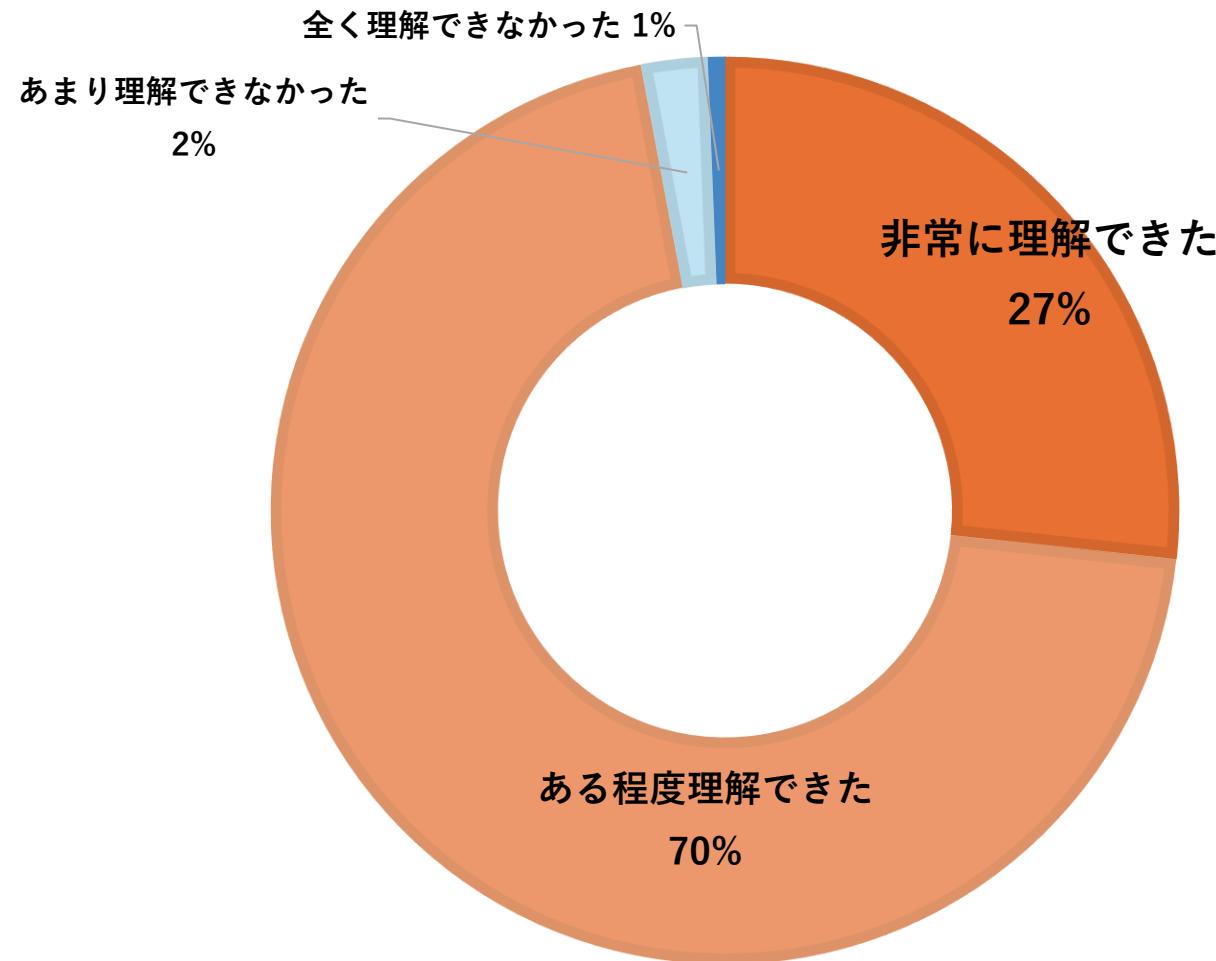
【② VRを活用した体験型研修】

- ・映像を見るのと違い、VRだと臨場感がありリスクを直接感じることができた。

アンケート結果

○アンケート回答者337名

Q、体験会を通じてどの程度DX・AIの理解度が深まったか

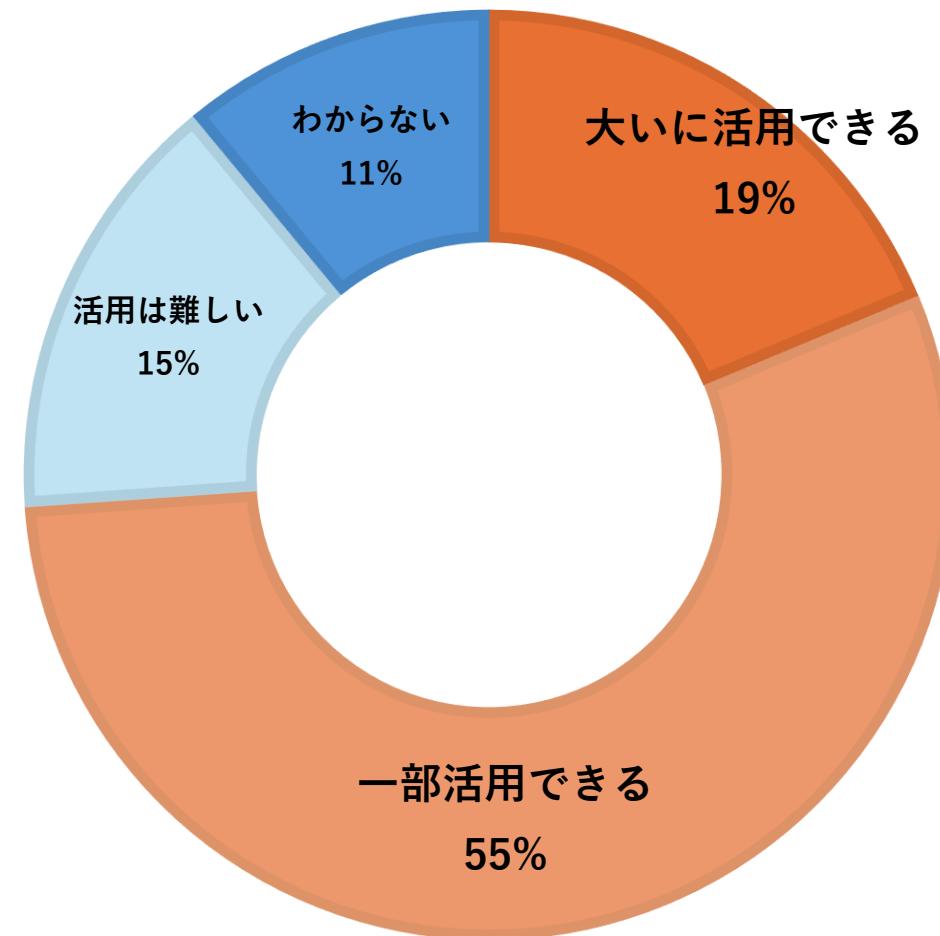


97%が理解できたと回答

アンケート結果

○アンケート回答者337名

Q、今回の体験は今後の業務に活用できるか

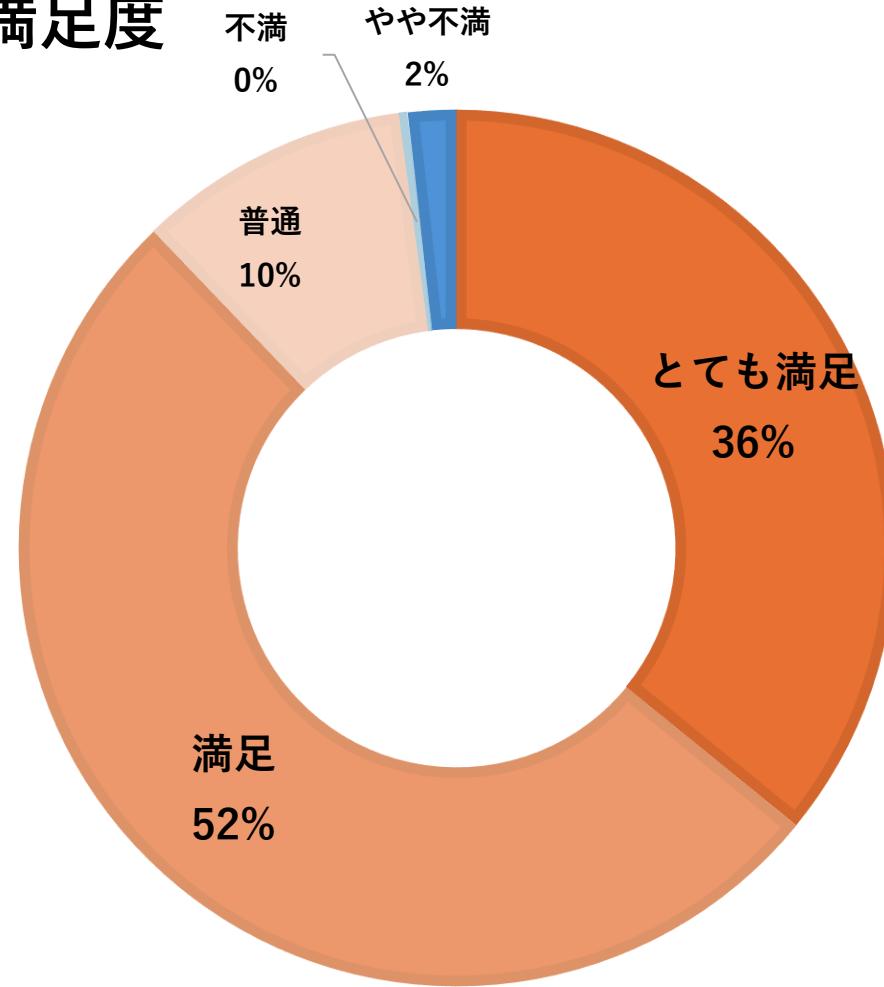


74%が活用できると回答

アンケート結果

○アンケート回答者 337 名

Q、体験会の満足度



88%がとても満足・満足と回答

アンケート結果

○アンケート回答者337名

Q、その他

- ・ これだけの取組が都の中で行われていることを知るきっかけになった。
- ・ 他局の取組を知るきっかけとなたし、非常に参考になった。
- ・ 職種や階級を問わずに参加できることで、参加者同士で話す機会が得られる。局の縦割りが無くなり、職員間のコミュニケーション向上にも寄与していることが良かった。
- ・ A I による設計図書の照査を全庁的に広めてほしい。
- ・ 若手が生き生きとプレゼンしていて、活気があった。

【意見交換会】

実施目的

- DX・AIの活用推進を目指し、各局取組の全庁展開を図り、取組事例の紹介や課題共有、解決策等の横展開を促進

実施概要

- 意見交換会
 - ・テーマ
 - ①ドローンの活用
 - ②AIによる設計照査

事前に実施した各局アンケート・ヒアリングを踏まえ、取組事例の紹介や課題の共有、課題の解決策等について意見交換を実施。

【新たなDX・AI等活用事例の創出】

実施目的

- 他自治体や民間企業等が実施する先進的なDX・AIの取組事例を収集し、各局取組を後押し

実施概要

- (1) 事例収集
6分野の先進事例を収集
(まちづくり、道路、交通、河川、水道、下水道)
- (2) 各局共有（3月頃）
課題解決に向けた事例提供として各局が取組を推進できるよう後押しする。

令和7年度の本会議スケジュール

第一四半期	第二四半期			第三四半期			第四四半期						
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
本会議				第121回 ★	今年度の取組方針の決定				第122回 ★	中間報告		第123回 ★	最終報告

第121回技術会議

これまでの活動を踏まえ
東京都技術会議の
Missionを整理



第122回技術会議

これまでの取組について
部会報告



第123回技術会議

• Missionに基づき取組を総括
• 各部会の最終報告

Missionに基づき
取組を推進

Missionに基づき
取組を推進